

事業所名

児童支援事業所まなびや結

放課後等デイサービス支援プログラム

作成日

令和 6 年 7 月 1 日

法人（事業所）理念		手をかけて 声をかけて 心をかけて こども達の未来と地域へのかけはしとなります。							
支援方針		小学高学年～高校生を対象に一人一人のレベルに合わせ進学や就労への移行準備として様々な活動体験を通して 社会性の向上や生活面で自立してできることを増やしていきます。 将来の職業へのイメージや成りたい自分になる為に今なにを学び考えるのか？自己決定できる力を育む為の支援を心掛けています。							
営業時間		9 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	掃除・洗濯・調理など家事全般や入浴（洗髪・洗顔・体の洗い方）・季節や気温に応じた身支度・時間を意識した行動やスケジュール管理などが自立して行える様にレベルに合わせた方法を一緒に考え体験を通して習得し生活習慣への定着を目指します。健康を意識した食事や嗜好品の選択ができる様に食材についても学び 一人でも手軽にできる調理手順など体験できる活動内容を提供します。中学生以上では自分達で話し合い企画しスケジュールを決め 公共の乗り物での移動手段を調べ実行するなど課外活動を行っています。							
	運動・感覚	感覚過敏や協調運動 姿勢の維持が難しいケースでは原始反射統合運動を含めたビジョントレーニングを取り入れています。基本的には本人の参加の意思があるか？自己決定して頂いています。パークゴルフやモルック ポッチャ 卓球など余暇活動を広げながら目と手の協応性の向上のに繋げています。その他手先の巧緻性の向上には手芸などの製作活動を取り入れています。							
	認知・行動	将来の就労を見据え社会のルールやマナーの理解や日常生活のスキルアップを目指し スライドやパワーポイントなど視覚情報を取り入れた課題提供を行い 金銭の概念や管理の仕方なども取り組んでいます。 学校や家庭での困り感について話し合い 解決や改善方法を一緒に考え行動に繋がる様に支援します。							
	言語 コミュニケーション	挨拶や礼儀 要求 相談 報告などの相手や場面に応じた適切な言い方や思い通りに成らない時の感情コントロールなどを実際にロープレや課外活動などで理解に繋げています。 SNSやlineなどのコミュニケーションツールの使い方や伝え方について 少人数のグループで意見交換などを通して理解を深めます。							
	人間関係 社会性	自分の意見として価値観を主張するだけでなく相手の話を最後まで聞き 双方で折り合いつけ方を理解する為に 子ども達を中心に課外活動やイベント企画などについてグループでディスカッションを行い決定します。 利用施設への電話での問い合わせや予約の仕方 費用を調べ予算を決める 企画イベントでのお知らせの仕方や資料の作成など其々のできる事を分担し協力し実践する機会を設定し取り組んでいます。 将来の職業へのイメージがしやすくなる様に就労支援事業所や協力企業先への見学なども取り入れています。							
家族支援		来所時の様子は送迎時の報告やlineで写真や動画を添付しお伝えします。保護者様の困り感について個別面談や電話やlineで随時相談対応をします。			移行支援		学校での集団生活や登校が円滑にできる様に情報共有やサポートを行います。		
地域支援・地域連携		必要に応じて支援会議の開催し家庭・学校その他関係機関との情報共有を行います。 いつでも見学訪問の対応をしています。			職員の質の向上		毎月の会議・勉強会の中で 支援方法の見直しや対応の仕方について検討しています。 定期的な研修会を開催しています。		
主な行事等		お誕生日会・夏祭り・親子参加運動会・ハロウィン・クリスマス会							